

令和8年8月21日

全員協議会資料②

なばりの未来創造部 行政・デジタル改革推進室、総合  
企画政策室、総務部 財政経営室、市民部 課税室

固定資産税の税率見直しに係る市民説明会等の結果について（報告）

1. はじめに

令和8年7月から8月において実施しました市民説明会に、延べ376名の方に参加いただき、多くのご質問やご意見等をいただきました。これらのご意見等も参考とし、令和8年9月定例議会に名張市市税条例の改正議案を提出します。

2. 市民説明会等の開催実績

|        | 月日       | 時間      | 場所          | 参加者数 |
|--------|----------|---------|-------------|------|
| 1      | 7月19日（日） | 10時00分～ | つつじが丘市民センター | 32名  |
| 2      | 7月20日（月） | 10時00分～ | 名張市防災センター   | 26名  |
| 3      |          | 14時00分～ | 梅が丘市民センター   | 42名  |
| 4      | 7月22日（水） | 18時00分～ | 錦生市民センター    | 26名  |
| 5      | 7月29日（水） | 18時00分～ | 蔵持市民センター    | 15名  |
| 6      | 8月 1日（土） | 10時00分～ | 美旗市民センター    | 25名  |
| 7      |          | 14時00分～ | 名張市民センター    | 35名  |
| 8      | 8月 2日（日） | 10時00分～ | 薦原市民センター    | 14名  |
| 9      |          | 14時00分～ | くにつふるさと館    | 20名  |
| 10     |          | 18時00分～ | 箕曲市民センター    | 20名  |
| 11     | 8月 7日（金） | 18時00分～ | 赤目市民センター    | 19名  |
| 12     | 8月 8日（土） | 10時00分～ | すずらん台市民センター | 24名  |
| 13     |          | 14時00分～ | 比奈知市民センター   | 14名  |
| 14     | 8月 9日（日） | 10時00分～ | 桔梗が丘市民センター  | 33名  |
| 15     |          | 14時00分～ | 百合が丘市民センター  | 31名  |
| 延べ参加者数 |          |         |             | 376名 |

※ 上表の市民説明会に加え、地域づくり代表者会議（6月29日（月）・17名）、名張商工会議所（6月30日（火）・35名）、伊賀法人会（6月30日（火）・会長及び役員、事務局5名）、三重県宅地建物取引業協会伊賀支部／伊賀南部不動産事業協同組合（7月31日（金）・19名）など関係団体の皆さんに説明を行いました。

3. 市民説明会で寄せられた主な質問、意見の整理及びアンケート結果について

（1）市民説明会で寄せられた主な質問、意見の整理

ア. 税率の見直し、市民負担及び負担の公平性について

- 0. 3%の上乗せは、現在の固定資産税額の概ね2割増しという理解でよいのか。  
また、評価額や課税標準額の見直しと重なり、二重の負担増とならないのか。
  - 人口減少や社会保障費の増加が続く中、税率1.7%への見直しで十分なのか。  
将来、さらに税率が引き上げられることにならないか。
  - 税率を5年ごとに検証するとした理由は何か。3年ごとなど、より短い期間で見直すべきではないか。また、財政状況の変化に応じて、5年を待たずに見直すことも検討してほしい。
  - 市民税、法人市民税、軽自動車税などではなく固定資産税を選択した理由や固定資産の所有者に負担を求めることの公平性を明確にしてほしい。また、空き家・空き地や農業用機械等についても適正な課税・徴収を行い、負担の公平性を確保してほしい。
  - 年金生活者の生活状況や物価高等による家計負担、収益につながりにくい田畑・山林の維持管理負担、住宅取得や定住への影響などを十分考慮するとともに、都市計画税や空き家等への課税など、他の方法も検討してほしい。
- イ. 増収分の使途、財政健全化及び行財政改革について
- 増収分をどの事業にどの程度充てるのか。将来への投資や基金への積立てなども含め、具体的に示してほしい。
  - 固定資産税の税率引上げには反対である。人口減少が進む中、行政サービスや公共施設の縮小・見直しも含め、歳出をより踏み込んで見直すべきではないか。その上で、誰が、いつ、何を、どのように取り組むのか、予算額、工程、目標、成果などを明らかにし、その進捗や結果を市民に分かりやすく示してほしい。
  - 税率見直しによる増収によって、借入れや将来負担がどの程度軽減され、財政状況がどのように改善していくのかを具体的に示してほしい。
  - 年度ごとの財源不足額の変動理由や、財政調整基金、公債費（借金）の状況について説明するとともに、いつ頃どのような財政状態を目指すのか、中長期的な見通しを示してほしい。
  - 事務事業、公共施設、補助金などについて、必要性や効果を改めて検証し見直しを進めるとともに、細かな経費削減も含め、行財政改革をさらに進めてほしい。
- ウ. 職員体制、議会、市の責任及び自主財源の確保について
- 財政が厳しい中、職員の給与、賞与、手当、退職金をどのように考えるのか。また、特別職の給与や賞与についても見直すべきではないか。
  - 市議会議員の報酬の引下げや定数削減を含めた見直しを行うとともに、専門性のある人材による監査など、厳格で実効性のあるチェック体制を整えてほしい。
  - 若手職員の退職や採用試験の受験者減少など、人材確保の課題について原因を分析し、職員が意欲を持って働ける環境づくりを進めてほしい。

○給与カットや行財政改革による職員の意欲低下にも配慮するとともに、職員だけに負担を求めるのではなく、市役所全体で行財政改革や財源確保に取り組んでほしい。

○適正な課税・収納、国庫補助金、未利用資産、ふるさと納税、クラウドファンディング、ネーミングライツなど、税率見直し以外の財源確保策をさらに進めてほしい。

#### エ. 地域経済、農業、医療、子育て、教育について

○企業撤退による雇用、税収、人口、ふるさと納税等への影響を把握し、従業員の再就職支援や跡地活用を進めるとともに、新たな企業誘致を進め、雇用や税収の確保、若い世代の流入につなげてほしい。

○農地について、所有者の維持管理や税負担、担い手不足、遊休化・荒廃などの課題を踏まえ、農地の有効活用や雇用の場づくりにつなげる取組を進めてほしい。

○市立病院の診療体制や経営、一般会計からの負担、伊賀市等との役割分担や広域連携の方向性を明確にするとともに、産科の設置や開業医の誘致など、地域で安心して医療を受けられる環境を整えてほしい。

○給食費や子どもの医療費助成など、周辺自治体と比べて子育て支援が十分でないとの声も踏まえ、若い世代が名張で子どもを産み育てたいと思えるよう子育て、教育への支援を充実してほしい。

○中学校給食について、早期の実現を求めるとともに、開始時期や事業費、運営費などを明確にしてほしい。また、バス通学に係る負担などにも配慮してほしい。

#### オ. 公共施設、生活基盤、まちづくり及び市民参加について

○ごみ処理施設や給食センターなどについて、建設費の高騰により追加の市民負担が生じないようにするとともに、人口減少や施設の利用状況を踏まえ、老朽化した公共施設の更新、廃止、集約などを検討してほしい。

○公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽等について、負担の公平性を検討するとともに、固定資産税に加えて水道料金も見直されれば市民負担が大きくなることから、負担全体を十分考慮してほしい。

○新しいごみ処理施設について、公民連携による整備や産業廃棄物の受け入れにより、周辺の生活環境や安全性への影響が懸念されるほか、ごみの減量を進める行政の役割との整合性にも疑問があることから、十分に検討してほしい。

○空き家や既存住宅を活用し、若い世代や働き盛り世代の移住・定住につなげてほしい。

○名張市の自然、歴史、文化、農業、地理的な強みなどを生かし、市外から人を呼び込む取組を進めるとともに、市民が「声を上げて何もう変わらない」と感じることはないよう、市民の意見をまちづくりに生かしてほしい。

※上記アからオの内容は、市内15会場で寄せられたご質問やご意見について、類似する内容を統合・要約し、主な論点ごとに整理したものです。各会場の質疑応答の詳細については、市ホームページに議事概要を掲載しています。

(2) 市民説明会参加者へのアンケート結果について

※別添資料③「市民説明会 アンケート集計結果」のとおり

4. 固定資産税の税率見直しに関する検証・見直しについて

固定資産税の税率見直しにより確保する歳入については、「未来の暮らしを創る着実な投資」と「健全な財政基盤の土台づくり」に活用します。歳入の使途の可視化と、毎年度の施策推進・財政状況の検証の積み上げを行いながら、5年ごとの総括的な検証や市民との情報共有・対話を一体的に進めることで、説明責任を徹底します。

(1) 歳入の使途の可視化と施策の進捗管理について

確保する歳入の具体的な使途や予算への反映、毎年度の進捗管理については、以下の仕組みにより透明性を確保します。

ア. 未来の暮らしを創る着実な投資（歳入の使途の可視化）

- ・総合計画において、固定資産税の税率見直しによる歳入で実現していく5つの重点施策を中心に、実施計画や目標値を明らかにします。
- ・施策目標の達成に向け、関連する事務事業を毎年度の当初予算に反映し、歳入の使途を可視化します。
- ・毎年、各部局や行政評価委員会等で実施する施策評価を通じて、重点施策の達成状況や課題、市民意識調査結果等を分析・検証し、次年度への展開方針とともに公表します。

イ. 健全な財政基盤の土台づくり（指標管理と将来試算）

- ・中期財政計画と行財政改革プランを連動させ、持続可能な財政運営に向けた財政指標を設定し管理します。
- ・決算報告や毎年11月に策定する中期財政試算・中期財政計画において、今後の収支見通しや財政指標の推移、行財政改革取組の目標・実績等を公表します。

|               |          |            |
|---------------|----------|------------|
| 財政指標（令和12年度末） | 実質公債費比率  | ：13%以下     |
|               | 将来負担比率   | ：140%以下    |
|               | 財政調整基金残高 | ：毎年度10億円以上 |

(2) 5年ごとの総括検証と税率の見直し判断

毎年度実施する（1）の検証の積み上げを基礎として、中長期的な視点から総括的な

検証と税率見直しの検討・判断を行います。

ア. 5年ごとの総括検証

- ・毎年度実施する検証の積み上げを基礎として、5年ごとに施策目標の達成状況や財政指標の推移、将来的な財政見通し等を総合的に検証します。
- ・社会経済情勢の変化や地方財政を取り巻く状況等を踏まえながら、固定資産税の税率の見直しについて十分な検討を行い、所要の措置を判断します。

イ. 情報の共有と対話

- ・広報紙やホームページ等を通じて、5年間の取組成果をはじめ、まちづくりの方向性や財政見通し、税率見直しの考え方等について、市民の皆さんとの情報共有を図るとともに、対話の場づくりを進めます。

(参考資料)

行財政改革等に関する令和6年11月以降の主な取組経過について

1. 市議会等

| 時期             | 主な動き                       | 概要                                                                                                                   |
|----------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年度          |                            |                                                                                                                      |
| 令和6年<br>11月20日 | 全員協議会                      | 「中期財政計画(令和6年度ローリング版)」、「名張市行財政改革プラン」、「なばり新時代の大改革宣言」を一体的に説明                                                            |
| 令和7年<br>2月～3月  | 令和7年3月<br>定例議会             | 行財政改革プランに基づく歳入確保・歳出削減の効果額を令和7年度当初予算に反映                                                                               |
| 令和7年度          |                            |                                                                                                                      |
| 令和7年<br>5月27日  | 全員協議会、行<br>財政改革調査特<br>別委員会 | 「市立病院の財政見通し」、「中学校給食に係る事業費の検証結果」、「中期財政計画(令和6年度ローリング版)の時点修正及び主要施策の方向性」、「今後の行財政改革プラン等の取組」を説明し、中学校給食の事業着手を当面の間、延伸する方針を表明 |
| 令和7年<br>7月7日   | 行財政改革調査<br>特別委員会           | 令和6年度に「新たな財源確保ワーキンググループ」において実施した課税自主権の活用や使用料・手数料の見直し等の財源確保に向けた調査、検討の結果を報告                                            |
| 令和7年<br>8月21日  | 全員協議会                      | 「使用料、手数料等の額の見直しに係る関係条例の整備について」を説明                                                                                    |
| 令和7年<br>9月22日  | 行財政改革調査<br>特別委員会           | 「行財政改革プラン(令和6年度)推進状況」の報告、議案第15号「使用料、手数料等の額の見直しに係る関係条例の整備に関する条例の制定について」を説明                                            |
| 令和7年<br>11月20日 | 全員協議会                      | 「中期財政計画(令和7年度ローリング版)」を説明                                                                                             |
| 令和7年<br>12月23日 | 市議会→市                      | 市議会から市に「財政健全化に向けた新たな財源確保に関する意見について(超過課税の実施検討、法定外税の新設に向けた研究、防災庁の地方拠点の誘致、国への財政支援要望の強化)」を提出                             |
| 令和8年<br>2月～3月  | 令和8年3月<br>定例議会             | 行財政改革プランに基づく歳入確保・歳出削減の効果額を令和8年度当初予算に反映                                                                               |
| 令和8年度          |                            |                                                                                                                      |
| 令和8年<br>5月28日  | 全員協議会                      | 「中学校給食の実施に係る今後の方針等について」、「暮らしやすさと幸福が実感できるまち」を目指して(固定資産税の税率見直しについて)」を説明                                                |
| 令和8年<br>7月8日   | 行財政改革調査<br>特別委員会           | 「事務事業見直しの取組について」、「普通交付税制度等について」を説明                                                                                   |
| 令和8年<br>8月5日   | 行財政改革調査<br>特別委員会           | 「行財政改革プラン(令和7年度)推進状況」の報告                                                                                             |

## 2. 説明会等

| 時期                      | 主な動き            | 概要                                                                            |
|-------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年度                   |                 |                                                                               |
| 令和7年<br>8月22日<br>～8月30日 | まちづくり懇談会(市内5か所) | 中学校給食の事業着手の当面延伸、市立病院の経営改善、市財政の現状と課題、行財政改革の取組等について、市長が市民の皆さんに直接説明し、意見等を聴取      |
| 令和8年度                   |                 |                                                                               |
| 令和8年<br>7月19日<br>～8月9日  | 市民説明会(市内15か所)   | 固定資産税の税率見直しの考え方や必要性、税収の活用方針などを説明するとともに、市民の皆さんからの質問や意見を通じて理解促進と意見把握を図る市民説明会を開催 |

## 3. 広報

| 時期                | 掲載概要                                                                                               |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年度             |                                                                                                    |
| 広報なばり<br>令和6年12月号 | 人口減少や高齢化に伴う社会保障費の増加、公共施設の老朽化、過去の市債償還など本市の財政課題を示し、「なばり新時代の大改革宣言」や「中期財政計画」、「行財政改革プラン」に基づく財政健全化の取組を説明 |
| 令和7年度             |                                                                                                    |
| 広報なばり<br>令和7年6月号  | 市立病院への追加の財政支援などを含む厳しい財政状況を踏まえ、中学校給食センター整備運営事業について、令和9年度中の開始に向けた事業着手を当面の間、延伸する方針をお知らせ               |
| 広報なばり<br>令和7年7月号  | 中学校給食の事業着手延伸について、恒常的な財源不足や市立病院への支援など、その判断に至った財政的な背景を詳しく説明                                          |
| 広報なばり<br>令和7年8月号  | 中学校給食の延伸、市立病院の経営改善、行財政改革など、市が抱える現状と課題について市民と共有し、意見や提言を伺うため、8月下旬に市内5会場で「まちづくり懇談会」を開催することを周知         |
| 広報なばり<br>令和7年11月号 | まちづくり懇談会の主な意見と市の考え方の紹介、行財政改革の一環として取組を進めた使用料・手数料改定の周知とともに、令和6年度決算を基に実質単年度収支や各財政指標など市の財政状況を説明        |
| 令和8年度             |                                                                                                    |
| 広報なばり<br>令和8年4月号  | 行財政改革プランの集中取組期間3年目として、歳入確保・歳出削減の計約3.2億円の改革効果額を令和8年度当初予算に反映した取組を説明                                  |
| 広報なばり<br>令和8年7月号  | 将来にわたり必要な行政サービスを維持し、持続可能なまちづくりを進めるため、令和9年度から固定資産税の標準税率1.4%に0.3%を上乗せし、1.7%とする税率見直しの考え方を説明           |